

KRI 使用ガイドライン

作成年月日：2017 年 10 月 6 日

作成者：Japan FRAC KRI 作業部会

参加会社：バイエルクロップサイエンス株式会社、住友化学株式会社

対象とする有効成分：

作用機構	作用点とコード	グループ名	化学グループ名	有効成分名	農薬名(例)	耐性リスク 備考	FRAC コード
G: 細胞膜のステロール生成	G3: ステロール生成のC4位脱メチル化における3-ケト還元酵素	KRI-殺菌剤 (3-ケト還元阻害剤) (SBI: クラスIII)	ヒドロキシアニリド	フェンヘキサミド	パスワード	低～中	17
			アミノピラゾリノン	フェンピラザミン	ピクシオ		

病害別使用ガイドライン：

1. 灰色かび病

殺菌剤の総使用回数が 5 回以内の場合は、以下の表のとおりとする。

殺菌剤の総使用回数が 6 回以上の場合は、総使用回数の 3 分の 1 以内とする。

KRI 殺菌剤の 1 作期あたりの使用ガイドライン表

殺菌剤の総使用回数	1	2	3	4	5
KRI 剤の最多使用回数	1	1	1	2	2

留意事項

- * 各薬剤の農薬登録の範囲（使用回数、希釈倍数、散布水量等）で使用する。
- * 予防的に使用する。
- * KRI 殺菌剤を連続使用しない。
- * 作用機構の異なる殺菌剤と輪番で使用する。

注意事項

- * 本ガイドラインは、耐性菌の発生遅延化を目的としています。
- * 本ガイドラインは、使用する圃場において既に耐性菌が発生している病害には適用しません。

以 上